



なぎちょう
奈義町

12月議会

議会だより



新入団員、始動!!

平成30年 消防団出初式にて

145号

平成30年2月1日発行

発行 奈義町議会
編集 議会広報委員会
〒708-1392
岡山県勝田郡奈義町
豊沢306-1
☎(0868)36-4191

【おもな内容】

- 12月議会で決まったこと 2~3ページ
- 一般質問（8名） 4~11ページ
- 常任委員会・特別委員会報告 12ページ
- 特別委員会、常任委員会合同研修 13ページ
- 中学生との懇談・県町村議会議員研修 他 14ページ

町政をたたず 地方創生 等々

12月定例議会は、12月6日から21日まで16日間行われ、**条例4件、補正予算3件、同意1件、請願・陳情5件、意見書1件、その他2件、計16件を審議し決定。**8名の議員が一般質問を行いました。

『条 例』

時金を引き上げること
は賛同を得られない』、

として反対しました。

(賛成8、反対1)

○奈義町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

○町長等の諸給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に基づき、

給料表の400円引き

上げを基本に、率にして、0・2%引き上げ、勤勉手当を、0・1か月分引き上げるものであります。
(全員一致)

『補正予算』

○一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ

0・5か月、町長など三役が、0・1か月分です。賛成多数で可決しました。

森藤議員は、「今、

町長や議員に対する厳しい批判がある中、率が小さいとはいえ、一

円、町債5980万円などです。

歳出の主なものは、人件費の一部を改正する追加分、538万円、介護予防施設(温水プール)の改修費、110万円、敦賀市への焼却灰訴訟の負担金(利息が膨らむので、利息分を前払いするため)、2070万円、台風21号被害のコミュニティ施設の復旧補助に、1

○その他、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算の2件は、主に医療費の増、介護給付費の増による

補正です。(全員一致)

員から、敦賀市の裁判の見通しはどうか、また、負担金について、津山市など他の市町の同意は得られるのか、などの質問が出されました。(全員一致)

○奈義町教育委員会委員の任命につき同意を求めることがあります。

(全員一致)

『同 意』

○奈義町教育委員会委員の任命につき

同意を求めることがあります。

次のように、

教育委員について

て同意しました。

橋本 桥本 マリ氏

(久常・51歳)

野々上正成氏

(西原・62歳)

(全員一致)



改修中のウォーキングプール

12月 定例議会

平成29年
12月6日～21日

8議員が 一中学校、ナギカラ、

請願・陳情の結果

請願・陳情	提出者	結果
日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択を求める請願	原水爆禁止岡山県協議会 代表理事 中尾元重	採択 (全員一致)
要望書（新しい「中学校」及び「保育園等」の建て替えについて） (委員会報告)	保育園保護者会長、幼稚園、小学校、中学校の各PTA会長	継続 (賛成6・反対3)
要望書（中学校の建て替えと幼保一体型こども園の整備について） (委員会報告)	保育園保護者会有志、幼稚園、小学校、中学校の各PTA有志	継続 (賛成6・反対3)
森林組合施設の移転と跡地利用に関する要望書	奈義町森林組合 代表理事組合長 福田 勉	趣旨採択 (全員一致)
畜産施設周辺環境における悪臭規制に関する要望書	奈義町区長会会長 岡部利邦	委員会に付託

《請願・陳情》

請願・陳情の審査結果については、以下の通りです。

《意見書》

請願の採択に伴い、次の

ような意見書を上げました。

臨時議会報告

平成29年10月24日開催

★ 平成29年11月7日開催
契約の締結

山彩村、増築、新築工事（小商いパイロットキッ

チング）・（株）エーアンドエ

ム・6156万円
(賛成7、反対1)

★ 一般会計補正予算

旧東部衛生施設組合問

題で、敦賀市からの控訴

に応訴するための弁護士

費用として。（予備費か

ら組み替え）

★ 物品売買契約の締結

幼児送迎用専用車2台

1171万円
(全員一致)

相手先／（有）阪神整備

を購入。

1171万円
(全員一致)

自立促進計画の

変更について

自立促進計

画に、道路新

設改良の距離

延長や、世帯

で子どもの面

倒を見ている

世帯に、1人

につき、月1

万円の支援金

支給を過疎債

に指定するも

のです。
(全員一致)

○所管事務等の調査について
(全員一致)



小坂、皆木の境界あたりのがけくずれ

まちづくりで論戦

Q 生き残れる農業に軸足を

A 農業再生に向けた取り組みを図る



岡部 英生 議員

質問 地方創生事業の中身が見えてきた。王将跡地の小商いマーケットプレイス事業、まちの人事部事業、ナギフトポイント制度事業など順調に推移している。

Q 未来に向けての取り組みは

A 町民の意向をくみ入れた計画に

農業再生に向けた取り組みを研究中である。

農業の実現を目指していく。

農業者への所得向上を図るため、山彩村にて試作品加工施設を整備している。また、野菜づくりなどに海藻を肥料として使用し高付加価値をつける取り組みを研究中である。

農業再生に向けた取り組みや農地の有効利用を図り、持続的な農業、生き残れる農業の実現を目指していく。



訓練中の16式機動戦闘車

質問 平成30年度は、一歩一歩確実に町民と共に進めていただきた。地方創生事業も折り返しに来た。未来に向けた新たな取り組みは。ではあるが町ににぎわいがある3年目になる。少しずつ生まれたり、町が変化している様子に気づいている町の方がおられる。

今後は、王将跡地を活用して、人、交通、情報が集まる駅場や医療機関、周辺商店などとの回遊性を生み出す拠点となる小商いマーケットプレイス事業、豊沢住宅跡地整備事業、山の駅周辺整備事業などを検討している。そして、これまでの取り組みを検討しながら、町民皆様の意向を十分くみ入れた計画によるよう努力してまいりたいと考えている。

Q 米軍単独訓練は大丈夫か

A 区長会としての意見、要望を反映させる

質問 米軍演習などについて、自衛隊（中国四国防衛局）との覚書を締結する前段階で、地区からの要望を聞く。米軍単独訓練の受け入れなど町政にかかる案件については、区長会としての意見を反映させることが重要である。



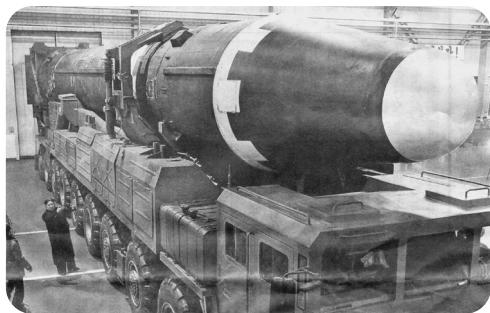
安藤 榮一 議員

Q ミサイル想定避難訓練の実施は

A 研究課題である

質問 北朝鮮の弾道ミサイルの飛来に備え、政府と一緒に避難訓練を実施してはどうか。

答弁 町長 岡山県との連携も必要であると思われるので、今後の研究課題と考えている。



ICBM「火星15」型

Q SNS指導強化は取り組む必要がある

質問 会員制交流サイト(SNS)の利用に関し、子どもへの指導強化を図るために、インターネットを介した犯罪被害防止の取り組みをしていく。

みとして、モラルに関するスマートフォンの正しい使い方や被害を防ぐ方法について学ぶ教室を開催してはどうか。

答弁 教育長 スマートフォン、ネット等のメディア使用については、学校、家庭ともより一層連携し、改善に向けて取り組みを進めていく必要がある。

Q 町道の適正管理は道路管理に努める

質問 町道の道路パトロール実施状況と実績等については。

用については、学校、家庭ともより一層連携し、改善に向けて取り組みを進めていく必要がある。



台風被害

Q 遊具等の安全対策は安全点検をしている

質問 幼稚園や保育園、運動公園等の遊具類について利用する子ども達が遊具から転落するなどの事故防止の安全対策についてはどうか。

答弁 教育長 遊具類の安全管理は、各校、各園で実施しており、毎月1回は、職員による安全点検を実施している。また、年に1回、全点検は、各校、各園で実施している。専門業者による全ての遊具の安全点検をしているが、運動公園は、毎週火曜日に職員が点検をしている。1年に一度は、専門業者による点検を行っている。



運動公園内の遊具（とんがりワールド）

その他、NIE（教育新聞を）について質問。次期学習指導要領は、「主体的、対話的で深い学び」を重視している。そこに、新聞はどう活用できるか。小、中学校での取り組みの方向性について質問を行った。

Q 若手職員プロジェクトチームの活動の進捗状況は



鷹取 渡 議員

質問 昨年から役場の若手・中堅の職員の皆さんが課・室・局を越えてプロジェクトチームを作り、それぞれ町の課題を挙げて、多忙な通常業務の中、研究や活動をしている。新しい取り組みで町民皆さんも注目している。主な進捗状況を聞きたい。

答弁 町長 職員プロジェクトチームは、子育てや教育、住まい、福祉、交通など地方創生事業の実現を図るため、町の課題を町民皆様と一緒に若手職員が調査し企画する新しい形の組織として、8チーム編成されている。主なものは、空き家活用チームは、町内に増えている空き家を流動化し、移住希望者の想いをかなえる住まいにする調査研究や、空き家を有効活用する提案などをしている。

職員は、職務の遂行が第一なので、無理のない範囲で取り組むよう指導している。

質問 町内の多くの団体がまちおこしや地域の活性化のため活動されており、町の行事などに協力、参加して色々な催しを盛り上げていただいているところだが、どの様に評価されているか。

Q まちおこしに頑張る団体をどう評価しているか
A 多くの団体の活動はまちの強み



役場職員プロジェクトチーム

ために多くの団体の方が、地域活動に取り組まれ、町政にご協力をいただき感謝している。多くの団体がさまざまな活動を自発的に行っていることは、町の大きな強みであり、魅力でもある。今後も支援をいただいている団体と連携してまちづくりを進めたい。



町道路面補修の状況

その他、6次産業化や、おみやげづくりの質問を行った。

質問 町内の多くの団体がまちおこしや地域の活性化のため活動されており、町の行事などに協力、参加して色々な催しを盛り上げていただいているところだが、どの様に評価されているか。

質問 町道菩提寺線の路面のひび割れが目立つ。観光バスや大型トラックの通行も多くあり、早目の修理が必要ではないか。

答弁 町長 町道菩提寺線も含めて、路肩の亀裂や路面の老朽化に対し、補修の必要性を調べる路面性状調査を行い、長寿命化計画を立て、中長期的なコストの縮減を図っていく。

Q 町道の早目の点検、修理をひび割れ充填工法などで補修を行う



桑村 由和 議員

Q 分譲地や賃貸住宅について

A 効果の高い事業方法を、調査・研究する

質問

奈義町の賃貸住宅の需要と供給のバランスは取れているのか。

答弁 町長 需要が供給を上回っている。民間賃貸住宅の整備を期待している。

質問 補助金等思い切った政策をしてはどうか。

答弁 町長 移住定住が奈義町との目的に合う形で研究していきたい。

質問 今後の分譲地開発についてはどのように考えていくのか。

答弁 町長 ありきたりな宅地造成だけではなく、景観、生活環境、ライフスタイル、地域コミュニティ等への憧れや魅力を引き出せるような、付加価値の付いた事業展開も検討していく。

質問 豊沢住宅跡地の開発は、いつ計画ができるのか。

答弁 町長 基本コンセプトを取りまとめ、再来年度（2019年度）以降で、実施設計や工事等への着手になる予定。

質問

タウンプライドについて化していきたい

Q タウンプライドについて

A 早い時期に条例化していきたい

質問 グランドデザインに

あるような美しい自然あふれた町にしておくには、現代美術館周辺のシンボルロードや山の駅周辺については

景観条例等を作り自然を守る必要があると思うがどのように考へているのか。

答弁 町長 景観計画や景

観条例の策定に向けて、慎重に議論を進めていきたい。

質問 現代美術館の周辺をおしゃれな回遊路として町民の皆さんや観光客のかたに歩いて頂けるように道路を改修してはどうか。

答弁 町長 道路の劣化状況や、今後、策定予定の景

況や、今後、策定予定の景

況を下回った要因について

Q 学力テストが全国平均・岡山県平均を下回った要因について

A 多くの要因がある

傾向⑤家庭学習時間が少なく、予習や復習することが定着をしていない、等が挙げられる。

質問 学力向上の今後の対策について。

答弁 教育長 あらゆる手立てと工夫を進めながら、直接・間接に教育内容の充実に努めていく必要がある。

質問 家庭の子どもに対する関心の高さが、学力に出ていているのではないか。

答弁 教育長 学力だけでなく、家庭教育や関心の有り様は、とても重要だ。

質問 タブレットやICT等を使用した教育システムや教育環境の整備の遅れが教育水準に影響していないのか。

答弁 教育長 学びのための環境整備もとても重要なと思ってている。

質問 教育施設の重要性はどのように思っているのか。

答弁 教育長 ハード面は、子ども達や町民の方々が誇りに思うような施設整備、学校や園になるとすばらし

質問 全国平均・岡山県平均を下回る結果になった要因について。

答弁 教育長 ①二極化傾向②学年による偏り③コミュニケーションが苦手④文章の読み解きや書くことが苦手な

質問 教育施設の重要性はどのように思っているのか。

答弁 教育長 ハード面は、子ども達や町民の方々が誇りに思うような施設整備、学校や園になるとすばらし



おしゃれにしたいセンターゾーン

Q ふるさと納税に目標を



岡 立 議員

A 基本はまちづくり応援で

質問 ふるさと納税のPRと質について、奈義町は、少々力不足である。目標を持つて取り組むべきだと思うがどうか。

答弁 町長 競争ではなく、まちづくりを応援してもらうようにしたいが、金額などの目標を定めていく事も大切。今後十分研究する。

質問 まちづくりを応援してもらうということになると、奈義出身者となり限られてくる。金額目標だけではなく、町外の方に向けた方策と、二通りの方法が必要ではないか。

答弁 町長 十分議論する。

質問 ふるさと納税の現状は。

答弁 町長 28年度861万円（決算額）に対し、29年度は369万円（11月末現在）と落ち込んでいる。近隣の市町村では、かなり頑張っている。1億円程度の目標は立てられないか。

答弁 町長 奈義町出身者にPRしていく。

県と県内市町村の2016年度のふるさと納税と17年度の住民税控除額の状況

	寄付受け入れ額(円)	住民税控除額(円)	差額(円)
瀬戸内市	1億1934万	1191万	1億743万
赤磐市	6539万	1474万	5115万
真庭市	1億9555万	1009万	9946万
美作市	2303万	309万	1994万
浅口市	8319万	1134万	7185万
和気町	7670万	217万	7453万
早島町	443万	592万	▲149万
里庄町	411万	380万	31万
矢掛町	378万	305万	73万
新庄村	2億5401万	23万	2億5378万
鏡野町	2040万	225万	1815万
勝央町	4707万	148万	4560万
奈義町	728万	75万	653万
西粟倉村	1028万	8万	1020万
久米南町	163万	44万	119万
美咲町	1574万	168万	1406万
吉備中央町	6億1125万	238万	6億887万
合計	63億2471万	17億1143万	46億1328万

(山陽新聞 平成29年8月22日発行より) ※決算額とは異なる

質問 返礼品の魅力がとぼしいのではないか。

答弁 町長 一朝一夕にはいかない。地道な取り組みが必要。

質問 何が足りなくて少ないか検討してみたか。

答弁 町長 していない。

質問 体験型などを入れてはどうか。

答弁 町長 検討、研究をする。

質問 いろいろな企画を考え実行するには、専任の担当者が必要ではないか。

答弁 町長 難しい。



奈義町のふるさと納税返礼品

質問 こども園の計画を早急に!! 教育施設、場所の問題がある。

答弁 町長 場所の問題、中学校との関係もあるので、難しいが早急に進める必要がある。

質問 保育園、幼稚園の現在の職員数、場所は適正か。

答弁 町長・教育長 国の基準は守っている。

質問 基準は最低のラインである。子育ての町として、町独自で、基準をもうけ、少しゆとりを持った配置ができるのか。

答弁 町長・教育長 現況を見ながら判断する。

質問 今後の子育て施設のあり方は。

答弁 町長 こども園、チャイルドホーム等、子育て支援施設は総合的に検討する。



森藤 政憲 議員

Q 2600を超える署名に応え、今ある所で中学校の建て替えを

A 3月までには結論を出したい

質問
12月4日、2600を超える署名…中学校は今ある所で建て替えを求める要望書…が町長に提出された。町長は、「6月議会で、私の質問に対し、「(市民)多数の声には従う」と述べている。2000を大幅に超える、この多数の声に応えて、移転をやめる決断をすべきだと思うが、どう考えるか。

答弁 町長 署名については、重く受け止めている。教育改革推進委員会や中学校の場所などについて検討する32人の検討会などの動向も見ながら、3月までには結論を出したいと思ってる。

質問
12月4日、2600を超える署名…中学校は今ある所で建て替えを求める要望書…が町長に提出された。町長は、「6月議会で、私の質問に対し、「(市民)多数の声には従う」と述べている。2000を大幅に超える、この多数の声に応えて、移転をやめる決断をすべきだと思うが、どう考えるか。

質問
12月4日、2600を超える署名…中学校は今ある所で建て替えを求める要望書…が町長に提出された。町長は、「6月議会で、私の質問に対し、「(市民)多数の声には従う」と述べている。2000を大幅に超える、この多数の声に応えて、移転をやめる決断をすべきだと思うが、どう考えるか。

質問
奈義町の地方創生事務局長の指示により、住民基本台帳を使って、署名をチェックしたのは事実か。これは大きな問題である。

Q 署名のチェックは問題ではないか
A ダブリのチェックなどのため行つた

答弁 町長 ダブリのチェック、町内在住者がどうかの確認を目的に、台帳を使つてチェックした。条例からは逸脱していいと考えている。

質問
奈義町の地方創生事務局長の指示により、住民基本台帳を使って、署名をチェックしたのは事実か。これは大きな問題である。

Q ナギカラ主導の町づくりから奈義色の町づくりへ転換を
A 20年先、30年先を考え進めている



12月4日 “今ある所で中学校建て替えを” の署名が提出される

質問
ナギカラへの役場職員派遣は間違いでないか
A 間違いを正し、役場に戻した

質問
ナギカラへ役場職員が派遣されたが、法律に照らして、これは違反ではないか。どうしてこんなことが起きたのか、その責任も含めて、町民と議会に報告をすべきだ。

質問
ナギカラへの役場職員派遣は間違いでないか
A 間違いを正し、役場に戻した

質問
これまで、秘密主義のような点があつたかもしれない。実施計画については提出したい。20年後30年の奈義町を考え、地方創生事業を進めている。ご理解願いたい。

Q 将来のまちづくりの理念を示すタウン プライドは間違いでないと思うが



芦田一郎 議員

A 多くの方のご意見をお伺いしながら慎重に決定

質問 地方創生事業にかかる奈義町教育施策の改革について、奈義町の人口減少を最小限に食い止め、奈義町が単独町政を維持するためには子育てのしやすい町である事が最も重要であり、0歳から15歳までの一年貫教育について、議論を開いてきたが、中学校の耐震問題により建て替えが急がれ、現在の中学校の場所に建て替えるよう要望書が出されている。要望書を出された方たちのお話を聞くと、30年後50年後の奈義町を考えた理論は見当たらなかった。三世代同居が少なり、核家族で子育てをすることが増えていく中で、関係者からは、保育施設、教育施設等を隣接させる要望がなされている。そうした中での中学校の耐震問題だ。今この時期に地方創生事業により、保育、教育施設を集中できれば、教育を目的とした転入、移住、定住者の増加が望め、教育施設を一つの場所に集中させることは子育てのしやすい

答弁 町長
自然、アート、町の人々で構成するまちづくりの理念、タウンプライドは、奈義町が誇るも



教育改革推進委員会

町として人を呼び込み、奈義町を存続させるために必要なことであると考える。現在の奈義中学校は、先輩諸賢が、ご苦労の末つくり上げられたすばらしい学校だ。奈義町が単独町政で生き残ることにより、その業績と子育て応援宣言のまち奈義町の礎となつたという思いが永く受け継がれること思われる。将来のまちづくりの理念

を示す「タウンプライド」は、間違いでないと考える。時には対症療法も必要だが、ぶれることのない考え方を町長に伺う。

のであり、まちづくりの哲学であり、今後も常に原点に立ち返る重要な指針である。まちづくりは人づくりであり、0歳から15歳までの切れ目のない子育て教育、さらには高校生への支援は行政の責務である。そのためどのような子育て、教育環境が必要かを、教育改革推進委員会と子育て教育検討会で議論していただき、

質問 津山圏域広域事務組合をはじめとする、行政指導、商工関係主導等各グループが立ち上がっているが、奈義町が単独町政を維持し、生き残るため奈義町からプランを作り発信できないか伺う。

答弁 町長
現在本町では、地方創生事業において全国のモデルになるように企画し、町民皆様とチャレンジをしているところであり、これから事業が圏域の主体で連携して取り組むことが効果的であれば、本町からプランを提案して広域化をし協働化を進めたい。

Q 津山圏域に向けて奈義町発信の協働プランは本町からプランを発信し広域化を進めたい



中井 泰洋 議員

Q プロジェクトチームの今後の連携は

A 町民の方々との連携もさらに強化する

質問 役場内の職員のプロジェクトチームの活動だけでなく、今後さらに幅広く町民や有識者などの意見を聞いて、積極的に進めていくことが重要と考えるが、町長の考えは。

答弁 町長 町民の方々や有識者などとの連携については、意見交換やアンケート調査などを通じて町民の方々の意見をくみ取り、それぞれの専門的な知識や見を持つた方のアドバイスを受けながら取り組んでい

質問 プロジェクトチームの評価は

A 高く評価し、今後の期待もしている



プロジェクトチーム奮闘中！

業を進めていく上で、町民の方々との連携もさらに強化し、活力と元気な経済のある奈義町を築き上げていきた

る。

質問 プロジェクトチームは、活動も活発であり、職員育成にも役立っていると感じている。職員育成の観点から見たとき、果たしている役割をどう評価しているのか。また、それぞれの

質問 災害、大事故等が発生した場合、現在の体制では対応しきれない可能性があるよう気がする。

A 国の施策として、防災マネージャーの資格を持つた自衛隊O B等を採用した場合、経費の半分が特別交付税の対象にならぬ制度がある。



防災訓練（各地区からの報告を受ける役場本部）

質問 危機管理監、防災監を外部から

A 検討を進めていく

答弁 町長 通常業務を抱えながらも、斬新な発想やアイデアに基づいた事業を有する町であり、自衛隊OBの方など防災の専門知識を有した外部人材の採用と相談している点を高く評価している。また、奈義町の危機管理体制は、奈義町の危機管理体制の強化に有意義な制度であると認識している。

全国的にも、防災関連計画の見直し、防災訓練の内容の検討、多様化する自然災害や特殊事案に対する助言など期待されている。今後、検討を進めていくたい。

取り組みについての評価は。

答弁 町長 防災マネジャーの資格を持った人材の採用については、日本原駐屯地を有する町であり、自衛隊OBの方など防災の専門知識を有した外部人材の採用と相談している点を高く評価している。また、奈義町の危機管理体制の強化に有意義な制度であると認識している。

全国的にも、防災関連計画の見直し、防災訓練の内容の検討、多様化する自然災害や特殊事案に対する助言など期待されている。

委員会報告

まちづくり・文教常任委員会

修繕の補助はどうなつて
いるか。

答..修理費の4分の3の補
助で、上限300万円と
なっている。

総務常任委員会

12月4日、所管

事務の調査を行つた。主な質疑は次の通り。

問..子育て教育検討会について。

答..高齢者生活応援券は来年度どうなるのか。

答..現時点で来年度以降どうするとは言えない。

答..空調や給湯設備、機械関係等の修理を予定している。

答..教育内容、教

育の在り方に

については、教

育委員会(教

育改革推進委員会)の
検討をふまえ議論する。

問..介護保険の現状につ

いては。

高齢者生活応援券は



壊れたカーブミラー

答..認定率、給付費も大体落ち着いている。
問..妊婦健診の無料券交付拡充事業について、
今年度はどうか。
答..今年は多いという印象である。(50人は上回る。)

答..岡山市や東京で調査をしている状況である。
問..空き家活用の促進では、町が空き家を買うのか。
答..町の公有財産購入費で購入の予定にしている。
問..台風で倒れたカーブミラーの修繕が遅れているが。
答..総務課が担当しており、早急に修理、交換する。
問..町道小坂林野線のがくずれの個所はいつ頃通行できるようになるのか。
答..年内に仮通行できるよ

うに進めている。
問..有害鳥獣の捕獲数が大幅に減っていると聞いているがどうなのか。
答..捕獲の申告は減っており田畠の被害は大きく減少している。
問..コミュニティハウスの

12月1日、執行部及び担当課長出席のもと委員会を開催し、所管事務の調査を行つた。主な質疑は次のとおり。

答..修理費の4分の3の補助で、上限300万円となっている。
問..奈義町では学習塾が多く学力の低下が心配されるが。
答..課外学習や、公営塾にあたるもので対応している。
問..有害鳥獣の捕獲数が大幅に減っていると聞いているがどうなのか。
答..奈義町では学習塾が少なく学力の低下が心配されるが。
答..課外学習や、公営塾にあたるもので対応している。
問..コミュニティハウスの

11月27日、付託されていた2件の要望書の審査を行つた。

2月23日付の保育園保護者代表、幼小中PTA会長連名で提出されたものと、5月26日付で、保育園・幼稚園・小学校・中学校の保護者有志代表の連名の要望書で、保育園、中学校の建て替えは両者一致しているが、内容が少し違つており、議員の多くから意見が出たが、結論を出すに至らなかつた。

答..修理費の4分の3の補助で、上限300万円となっている。
問..奈義町では学習塾が少なく学力の低下が心配されるが。
答..課外学習や、公営塾にあたるもので対応している。
問..コミュニティハウスの

11月27日、付託されていた2件の要望書の審査を行つた。

この要望書に結論を出しが、中学校・保育園・幼稚園の整備に対し、委員会としての結論を出すことにつながるのか、ということが争点になつた。町長部局・教育委員会で検討会や委員会が設置され、検討がはじまつた所であり、当委員会もいまだ検討の途中でもある等々、委員全員が意見を述べ白熱した論議の後、継続審査とすることを、賛成多数で決定した。

12月13日、12月20日、委員会を開催し、再度審査を行つた。

この要望書に結論を出しが、中学校・保育園・幼稚園の整備に対し、委員会としての結論を出すことにつながるのか、ということが争点になつた。町長部局・教育委員会で検討会や委員会が設置され、検討がはじまつた所であり、当委員会もいまだ検討の途中でもある等々、委員全員が意見を述べ白熱した論議の後、継続審査とすることを、賛成多数で決定した。

奈義町議会だより 145号 (12)

定住化促進調査特別委員会



入居者募集中

11月27日、委員会を開催。テーマは、町内の空き家の実態調査で、空き家バンクに登録されている空き家の視察を行った。各物件について、大き過ぎたりいろいろな条件があり移住定住は、一朝一夕にはいかないを感じた。不動産屋さんの意見では「奈義町への移住希望はよく聞きますが、優良で適切な中古物件が少ない。また賃貸住宅も需要の割には少なく、若者住宅やセンタービレッジの家賃が安いため、民間事業者の賃貸住宅の建設意欲が非常に少ない。」とのことだった。

12月13日開催し、演習場対策室長より、演習場使用状況、米軍単独訓練についての状況説明があり、質疑応答の後、単独訓練については、津山市の動向等も注視するようとの要望があつた。

特演習場対策 特別委員会



浜田市役所



共和の郷・おだ

常任委員会合同研修

11月14日、15日、総務、まちづくり・文教両常任委員会の合同視察を行いました。

視察先は、浜田市、東広島市、倉敷市です。視察内容は、
■浜田市..シングルペアレント介護人材育成事業、ひ

■東広島市..「共和の郷・おだ」では、コミュニティ活動と集落営農の融合による地域づくりの取り組みで、人口の減少、過疎が加速して視察しました。

今回の視察は、人口減少の歯止めとなる、移住定住対策、農村振興対策、6次化対策など今後参考になりました。

いふるな条件があり移住定住は、一朝一夕にはいかないを感じた。不動産屋さんの意見では「奈義町への移住希望はよく聞きますが、優良で適切な中古物件が少ない。また賃貸住宅も需要の割には少なく、若者住宅やセンタービレッジの家賃が安いため、民間事業者の賃貸住宅の建設意欲が非常に少ない。」とのことだった。

小田の集落が崩壊するかもしれない、という地域住民の危機感が高まり自治組織が設立された経緯を学んだ。
■倉敷市..ヤンマーバイオイノベーションセンター倉敷ラボで循環型農業の先端技術を視察しました。

中学生との懇談



あなたが町長ならどんな町ができるかな

た。 ②は、国際
感覚（グローバリズム）の
醸成と語学力、
情報化社会への
対応力等、
両テーマにつ
いて活発に意
見が出ました。
最後にスロー
ガムを決めて
各班が発表し
て終了しまし
た。

11月17日、議会と奈義中学校3年生と懇談会を実施しました。テーマは、自分たちが町長だったら、奈義町をどんな町にしたいか。
②将来世界で活躍するためには、どんなことが必要だと

分けて各グループに議員1名ずつを加えて懇談を行いました。事前に内容をまとめて頂いていたためスムーズに進行しました。
①については、自然を生かし豊かできれいな町、施設が充実し活力のある町、安全で子供からお年寄りまでが安心して暮らせるやさしい町等

地方自治法施行70周年 県知事表彰受賞



このたび地方自治法施行70周年を記念して県知事表彰式が行われた。

多年（6期22年）に亘り議会議員として地方自治の振興発展に貢献された功績により、森藤政憲議員が表彰を受けました。

10月31日、津山圏域議長協議会行政視察
内容は、鳥取市、岩美町、若桜町、八頭町、智頭町の長と岡部副議長が参加した。

現在は第2次共生ビジョンに基づき60事業に取り組んでいる。平成30年4月には、鳥取市が中核市へ移行し、連携中枢都市圏の形成を目指している。

津山圏域議長 協議会行政視察

11月8日、津山鶴山ホテルにおいて町村議会議員研修会が開催された。早稲田大学マニフェスト研究所事務局長、中村健氏より「住民に期待される議会とは？」と題しての研修を受講した。

まず、平成22年3月に鳥取、因幡定住自立圏共生ビルドインを策定し、今日まで市町で連携する29事業を圏域の将来像に向けた取り組みを実施し、毎年度見直しを行い連携を強化、平成26年度までに45事業を実施された。

幸先の良い「初日の出」に始まり、雪の中での消防団の出初式、頑張った市町村対抗駅伝と、あつと言う間に1ヶ月が過ぎました。今年も、まちづくり、教育問題と、中学校新築、こども園についての早急な検討、米軍の単独演習など問題も山積みです。

幸先の良い「初日の出」に始まり、雪の中での消防団の出初式、頑張った市町村対抗駅伝と、あつと言う間に1ヶ月が過ぎました。今年も、まちづくり、教育問題と、中学校新築、こども園についての早急な検討、米軍の単独演習など問題も山積みです。

【編集委員】
議長 委員長
小阪井 岡 芦田
四泰郎 森 藤
洋立 政 英
憲 生 郎

編集後記